

## 第38回高知女子大学看護学会報告

高知女子大学看護学会企画委員長 長 戸 和 子

### メインテーマ：未来の看護を創る人材を育てる教育

第38回高知女子大学看護学会が、去る平成24年7月15日（日）に高知県立大学池キャンパスで開催された。県内外のさまざまな施設から、122名の卒業生・修了生、および看護職の皆様が参加があった。今年は、昨年に引き続き「未来の看護を創る人材を育てる教育」をメインテーマに、午前は、済生会横浜市南部病院院長補佐の陣田泰子先生を講師にお迎えし、「実践の知を紡ぐ－実践から学び、看護を創造する」と題してご講演いただいた（高知女子大学看護学部同窓会との共催事業）。また、午後は、メインテーマと午前の講演を受けて、7つのワークショップを開催し、参加者の皆様とともに、様々な視点から看護専門職としての力を高めていく方略についてディスカッションを行った。

### 学会長挨拶

講演会に先立ち、松本女里学会長から、学会メインテーマ「未来の看護を創る人材を育てる教育」について、看護基礎教育や大学院教育など、専門職を育成する教育の視点から検討した昨年に続いて、今年は、臨床実践の中で日々培われていく看護の「知」を、どのように統合し、後輩に伝え、発展させていくことができるのかということについて考える機会としたいという企画の意図が述べられた。これまで、臨床の場で、理論的な知識と実践とをいかに統合し発展させていくかということを探求し、様々な病院の看護部門のトップとして看護職者の現任教育に携わってこられた陣田泰子先生のご講演と、

午後のワークショップをとおして、参加者一人一人が、専門職として、また専門職を育てる者として、日頃の実践活動を見直す機会にしていたいただきたいとの期待が述べられた。

### 来賓挨拶

高知県看護協会理事 吉村利津子氏より、第38回高知女子大学看護学会開催のお祝いと、今後の高知県の看護への期待が述べられた。

### 講演会：10：00～12：00

「実践の知を紡ぐ－実践から学び、看護を創造する」というテーマで、陣田泰子先生にご講演いただいた。臨床実践の場に常に身を置きながら、その中で遭遇する看護現象から、実践の知を創り出していくことに取り組んでこられた陣田先生のご講演は、非常にパワフルで、看護の奥深さ、面白さを改めて認識させられる内容であった。講演内容については、本学会誌をご参照いただきたい。

### ワークショップ：13：30～15：30

例年、好評をいただいているワークショップを今回も下記の7つのテーマで企画、開催した。今回は、看護専門職にとって必要な「力」に焦点を当て、それらの力を育むための方略や、実践事例などについて話題提供者から紹介していただき、参加者の間で活発な意見交換が行われた。それぞれの概要は、本学会誌をご参照いただきたい。